

日本オリエント学会第 68 回大会のご案内

日本オリエント学会第 68 回大会（10 月 17-18 日）は、中央大学多摩キャンパス（東京都八王子市）のフォレストゲートウェイ（FG）館で開催されます。

1 日目の公開講演会（参加無料）はハイブリッド、2 日目のポスター発表を含む研究発表は対面で行われます。公開講演会にオンラインで参加をご希望の方と 2 日目の研究発表に参加をご希望の方は、下記 URL/QR コードから、9 月 30 日(水)までに Google フォームへご登録ください。オンライン参加の方には、ご登録いただいたメールアドレスに後日ウェビナーの URL をお送りします。

参加費と銀行振込

17 日 懇親会 6000 円（学生 3000 円）

18 日 研究発表会 2000 円（学生 1000 円）

銀行名: 三菱 UFJ 銀行 支店名: 多摩センター支店 (店番: 591)

口座種別: 普通 口座番号: 0995687

口座名義: 日本オリエント学会第 68 回大会実行委員会 ニッポンオリエントガッカイダイロクジュウハチカイタイカイジッコウイインカイ

合計金額を 10 月 2 日(金)までに上記口座にお振込ください。参加登録フォームにご入力いただいたお名前と振込名義人名が一致するようお願いいたします。また、振込手数料は 参加者各自でご負担ください。一度払い込まれた参加費等は返金できませんので、ご了承ください。

※研究発表への参加を希望される非会員の方は、現会員の推薦が必要となります。参加登録フォームに設けられた欄に推薦者名をご記入ください。

※学生の方は、当日に受付で学生証をご提示ください。

※発表レジュメ等は、原則として電子媒体で配布します。発表者ご自身で紙媒体のレジュメをご用意いただくことは可能ですが、実行委員会による印刷・増刷は行いません。

※ 2 日目に発表予定の方で、お子さんのベビーシッターまたは一時預かりサービスの利用を希望される場合は、上限 1 万円までの費用補助を行います。詳細はお気軽にお問い合わせください。

※多摩キャンパス周辺では食事をとれる場所が限られているため、昼食は各自でご用意ください。

お問い合わせ先: orient2026chuo@gmail.com

日本オリエント学会第 68 回大会実行委員会

参加登録フォーム

<https://forms.gle/rsRHxaovuzCUE5xQ6>

多摩キャンパス・アクセスマップ

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>



2026 年 10 月 17 日（土） 14:00~20:00

講演会・授賞式：フォレストゲートウェイ（FG）館

懇親会：1 号館 1406 号室

14:00~14:20 開会の挨拶

司会：唐橋文（中央大学文学部教授）

14:00~14:10 中央大学文学部長挨拶：緑川晶

14:10~14:20 日本オリエント学会会長挨拶：高宮いづみ

14:20~17:10 公開講演会

司会：江川ひかり（明治大学文学部教授）

14:20~15:40 公開公演 1

14:20~15:20 渡辺和子（東洋英和女学院大学名誉教授）

「『エサルハドン王位継承誓約文書』とは何か—新文書（タイナト版）の発見
を含めた研究史から見えるもの—」

15:20~15:30 コメント：山田雅道（中央大学文学部兼任講師）

15:30~15:40 質疑応答

15:40~15:50 休憩

15:50~17:10 公開講演 2

15:50~16:50 三代川寛子（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）

「エジプト・ナショナリズムにおけるコプト正教徒」

16:50~17:00 コメント：鈴木恵美（中央大学文学部教授）

17:00~17:10 質疑応答

17:20~17:40 オリエント学会奨励賞授与式

18:00~20:00 懇親会（1 号館 1406 号室）

2日目 2026年10月18日 (日)

会場:中央大学多摩キャンパス(東京都八王子市東中野 742-1)

研究発表会:フォレストゲートウェイ 3~4 階(F308, 310, 403, 405, 408, 410 教室)

第1部会 (F405 教室)

10:00~10:25 高橋寿光：古代エジプト新王国時代のワイドアンフォラの地域差について

10:30~10:55 吹田真里子：イドゥートのマスタバ地下埋葬室の壁画の復元

11:00~11:25 南澤武蔵：古代エジプト社会における双生児の可能性

11:30~11:55 竹野内恵太：エジプト中央集権国家の形成過程における統治論理と道徳的基盤としての家族関係

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 五十嵐小優粒：ペルシア語の「過去分詞+šodan」構文の統一的分析—受身・可能・変化の再検討

14:00~14:25 榮谷温子：クルアーンに見られる理由を尋ねる疑問文

14:30~14:55 藤本あずさ：現代トルコにおける宗教性と都市型スーフィズム—伝統・大衆化・癒しをめぐる多層性

15:00~15:25 村上武則：クルド人とタクフィール、非人間化、そしてイスラーム棄教

第2部会 (F408 教室)

10:00~10:25 佐藤育子：古代地中海と古代日本海の比較史的研究

10:30~10:55 丸小野壮太：アッシリア帝国における男性性の構築—エジプト人アーカイブを手がかりにして

11:00~11:25 新井雅貴：ヘブライ語聖書における死者、ḥālāl の評価について

11:30~11:55 春田晴郎：「カルデアとギリシアの戦い」とは、いつどここの出来事か？

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 佐藤力矢：「アレクサンドリアとエジプト全土の最高神官」を巡る諸問題

14:00~14:25 岩本尚教：古代エジプト第5王朝の太陽神殿とピラミッドに関する称号の保有者について—両建造物に対する関与状況と社会的地位に関する一考察

14:30~14:55 青木健：イランのグノーシスと神秘思想

第3部会 (F308 教室)

10:30~10:55 鈴木慎也：矢穴痕からみたランバカン・オヤ古代石造水路の石材加工技術

11:00~11:25 森河明音：鉄器時代I期南レヴァント北部における貯蔵実践—ピトスの出土

コンテキストの検討

11:30~11:55 神野健太：ディルムン式印章の形成過程について—バハレーン島出土湾岸式印章の細分を中心に

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

14:00~14:25 小野塚拓造：テル・ゼロール遺跡の後期青銅器時代の金属工房の再検討

14:30~14:55 常木麻衣：古代メソポタミアの分銅にみる重量基準の再検討

15:00~15:25 西山伸一：ギリシア系土器から見る前1千年紀前半の北レヴァント地方と地中海地域の関係性

*第3部会は午前、午後ともに他部会より30分遅いスタートとなります。

第4部会 (F310 教室)

10:00~10:25 Kadochnikov Iakov: Textual Continuity between Sargonic Royal Inscriptions and Later Literary Tradition — The Great Revolt against Naram-Sin

10:30~10:55 Patricia Bou Pérez and Luciana Urbano: Bodies, Blood, and Warfare — Gendered Necropolitics in the Old Babylonian Period

11:00~11:25 Regine Pruzsinszky: Stepping out of the Dark — Upper Mesopotamia and its Cultural Interconnections in the 17th Century BCE

11:30~11:55 Annarita Stefania Bonfanti: There are no Foreign Gods. Religious Integration in Urartu

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 Marta Lorenzon: From Local Clay to Imperial Construction — Micro-Geoarchaeological Evidence for Changing Mudbrick Production Strategies at Assur (Iraq)

14:00~14:25 伊藤早苗：Land and Water Transport in the Assyrian Empire

14:30~14:55 Evelyn Koubkova: In the Image of Marduk — The Mesopotamian Exorcist in the *Bīt mēseri* ritual

15:00~15:25 Uri Gabbay, Adrian Cornelius Heinrich, and Daisuke Shibata: Religious and Literary Traditions in First Millennium Mesopotamia — Liturgical Prayers to Marduk

第5部会 (F403 教室)

10:00~10:25 矢口直英：イブン・スィーナーにおける諸器官ヒエラルキーと心臓論

10:30~10:55 藤原路成：イブン・アラビーの宇宙創成論における「慈愛あまねき神の息吹」論

11:00~11:25 本間流星：イブン・アラビー学派と汎神論—ムガル朝インドにおける Hama
Üst の受容と批判

11:30~11:55 棚橋由賀里：アブドゥッラー・ガズワーニーの修行論

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 佐野東生：『七つの講話』(Majāles-e Seb‘ah)第一話にみるルーミーのイスラーム観

14:00~14:25 法貴遊：イブン・ハズムと自己享樂する神、あるいは断片化され有限化された不可知性

14:30~14:55 平野貴大：イマーム派人物学における非イマーム派系シーア派伝承者の評価

15:00~15:25 竹田敏之：文法源論からみた現代アラビア語文法改革—イブン・マダーの伝統文法批判とシャウキー・ダイフの改革構想

第6部会 (F410 教室)

10:00~10:25 北村隼一：初期アラビア語歴史叙述における占星術師の描出と社会的受容

10:30~10:55 嶋田英晴：中世イスラーム世界のユダヤ史再考

11:00~11:25 江原聡子：ハランのサービア教徒とマイモニデス—『ダラーラ・アル＝ハーイリーン』を中心に

11:30~11:55 荒井悠太：反乱と篡奪—13・14世紀ハフス朝における分権的状况と権力表象に関する試論

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 大塚修：『集史』第2巻「世界史」の原像—『歴史精髓』の「中国史」「イスラエルの民の歴史」

14:00~14:25 松倉宏真：1533年のオスマン・ハプスブルク和平におけるオーストリア大公フェルディナントの位置づけ—父子・兄弟関係の表現をめぐって

14:30~14:55 上島怜也：19世紀オスマン帝国における庇護と国籍—1863年領事館法の規定を手がかりに

15:00~15:25 倉野靖之：アラブ大反乱期パレスチナにおける殉職警察官に対する恩給—アラブ人警察官の事例を中心に

ポスター発表 (3階 HALL 前) (コアタイム 12:50~13:20)

・室岡亜美：ウバイド土偶の破損状況から見る地域性の比較分析

・河江肖剰、岩田直也：ギザ関連文献の横断検索を可能にする対話型 AI システム

「Humanitext Pyramid」の構築

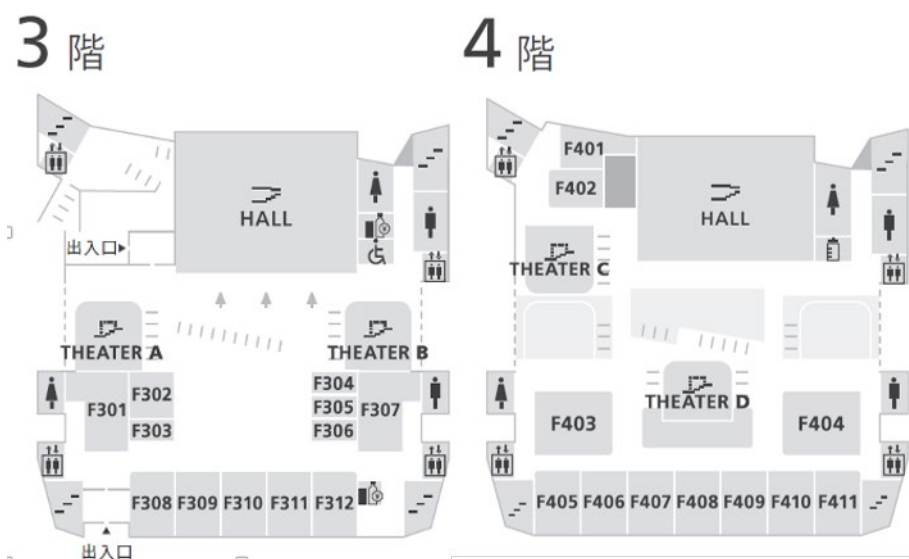
- ・ 佐藤育子、榮谷温子、丸小野壮太：チュニジア共和国におけるフェニキア・カルタゴ史の遺産をめぐる受容史研究
- ・ 佐藤力矢、勝岡輝行：文体の変化点検出によるディオドロス・シクロス『歴史叢書』第11-20巻の史料利用の統計的検証

キャンパスマップ

- ・公開講演会・部会会場：フォレストゲートウェイ（FG）館
- ・懇親会会場：1号館 1406室
- ・昼休憩で利用できる場所：Cスクエア、FG館シアター、FG館各教室



FG館案内



FG館利用上の注意点

- ・飲食は出来るだけカーペットの敷かれていない場所（シアター、広場等）をご利用ください
- ・教室内にはカーペットを敷いているため、液体の掃除が難しくなっております。お昼休憩時の飲食は可能ですが、食べこぼしが無いようくれぐれもご注意ください

Wifi 接続

無線 LAN に接続し Wifi 接続する場合は下記 ID をご入力ください

ESS-ID: 1017ChuoTama、Password: Orient2026

近隣のコンビニエンスストア等

- ・セブンイレブン中央大学・明星大学駅（モノレール「中央大学・明星大学」駅改札すぐ）
- ・ウェルシア八王子東中野店（モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩 4 分）
- ・ファミリーマート天野谷戸公園前店（モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩 4 分）

